

熊本大学教育学部附属中学校
令和7年度 使用教科用図書採択一覧

種目	発行者略称名	教科書名	選択した理由
国語	三省堂	現代の国語	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の字音の見直しをもち、何を学習するのが分かりやすくするために、巻頭に「領域別教材一覧」「この教科書の使い方」が示されている。 ○各学年に「情報を関係づける」という単元が設定されており、「マンガ情報の扱い方」の後に、複数の資料を使って学習する展開になっている。 ○1年「話題や展開にそって話し合いをつなげる」、2年「互いの考えを尊重しながら話し合いを深める」、3年「合意形成に向けて話し合いを計画的に進める」という教材が配置されている。 ○「話し合いのつづき」が具体的に示されている。
書写	光村図書	中学書写	<ul style="list-style-type: none"> ○綴じ込みで硬筆練習帳「書写ブック」が収録されており、教科書の学習内容に沿った硬筆課題が示されており、硬筆が充実している。 ○毛筆の手本は字は伸びやかで力強く、中学生が手本とするにふさわしい文字である。 ○すべての毛筆の手本に、穂先の向きや通る筆跡が示されており、特に毛筆初心者の生徒にとって練習の助けになるとと思われる。
社会 (地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	<ul style="list-style-type: none"> ○時間毎に学習内容について、小学校や歴史、公民、他教科における関連した語句が記載されている。 ○各章や節の導入頁に「章の問い」「節の問い」が設定され、1単位時間毎に「章の問い」や「節の問い」を意識した「学習課題」が設定されている。 ○1単位時間毎の学習課題に対して、「確認しよう」「説明しよう」が設定されている。 ○章末の「学習を振り返ろう」では、「章の問い」についてのまとめとして「章の振り返り1」及び「章の振り返り2」と、主体的な学びに関する「振り返り」が設定されている。
社会 (歴史的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ○章のはじめに、「探究する問い」として探究課題が設定されている。章の終末には、各節のまとめとその時代を大観し、表現させる「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」が設定されている。また、探究のステップとして節の学習課題、1時間の「学習課題」、学習内容を振り返る「チェック＆トライ」も設定されている。 ○各章のはじめや本文見開きには、導入・展開・まとめなどの学習過程に応じた二次元コードが掲載されている。
社会 (公民的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 公民	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く「探究課題」と1時間ごとの「学習課題」、節ごとの「探究のステップ」を設けて、段階を踏んで探究課題を解決する構成になっている。 ○各章の最初には「導入の活動」が設けられており、写真資料及びイラストが提示され、課題解決的な学習が示されている。
地図	帝国書院	中学校社会科地図 帝国書院編集部編	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の各州は「一般図→鳥瞰図→主題図」という配列で構成されている。また日本の地方は、原則として「一般図(地方別地図)→一般図(拡大図)→資料図」という配列で構成されている。 ○「世界と日本の人口」の特設ページがあり、世界の人口増加(予測人口)や、日本の人口減少・少子高齢化を捉える主題図やグラフが示され、世界と日本の人口分布の特徴や、将来について考える学習が設定されている。
数学	啓林館	未来へひろがる数学	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を用いて行う活動や考える活動の後に、基礎的・基本的事項の定着を図る場面が設定されていたり、他者の考えから自らの考えを振り返ったりする場面が設定されている。 ○利用に関する問題は「ステップ方式」で扱われており、「問題発見・解決の流れ」に沿って進められるような構成となっている。 ○内容をより深めるための問題や、巻末に、基本的な問題からやや発展的な問題、総合問題、発展[高校]の問題など、個に応じた進度で学習が進めやすくなっている。
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的に探究する資質・能力の育成という視点で、教科書が構成されている。 ○各章の始めのページでは、写真と「?」はてなスイッチが示されていたり、「探Qのたね」学んだことと関連する身近な不思議にスポットを当てたりしており、問題発見につながる活動が設定されている。 ○各単元末の「みんなで探Qクラブ」では、学んだことを活用して、身のまわりの疑問などを探究する場面が設定されており、本校の「学びを發揮する」授業の考え方に近い。
音楽 (一般)	教育芸術社	中学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをまとめたり、グループで話し合ったり、表現の仕方を工夫したりする「学びのコンパス」が掲載されており、思考の過程がわかるようになっている。 ○創意工夫して旋律づくりに取り組みるよう、段階的に手順が示されている。 ○二次元コードによる補助資料が充実しており、個別最適な学びが実践しやすい構成となっている。
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土愛や生命の尊さについて考えることができるような場面が設定されている。 ○本校で取り組んでいる「箏」について、基礎的な内容から発展的な内容まで充実しており、創作や鑑賞にもつなげやすい構成になっている。 ○「バンドの世界をのぞいてみよう」では、沖縄を拠点に平和を願うメッセージを発信しているバンドを楽曲とともに紹介し、郷土愛や生命の尊さについて考えることができるような場面が設定されている。
美術	光村図書	美術	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な考え方が多数紹介しており、生徒が自分の個性を發揮し表現していくための手がかりになるような工夫がされている。 ○実物大の作品掲載や立体作品の360°写真など、実物がない状況での鑑賞授業でも充実した鑑賞ができるようになっている。 ○共通事項に関する問いかけが「ポイント」として設定されており、生徒にとってどんな考え方をしていけば作品を鑑賞していくことができるのかが分かりやすくなっている。
保健体育	大修館	中学校 保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や「事例」、「コラム」、「体育の窓」や「保健の窓」に使用されている写真や情報は、実生活や実社会の課題や現状を伝える内容となっている。 ○各小単元の「課題をつかむ」は、実生活と関連させており、実生活につなげる課題が設定されている。 ○「課題をつかむ」では、自分のこれまでの生活を振り返ったり、グループで話し合いをしたりする学習活動が設定されている。 ○「学習のまとめ」では、学習内容のまとめや、実生活と関連付けた話し合い活動につなげたりする内容になっている。 ○二次元コードが示されており、とても使いやすい。
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭のガイダンスでは、LEDライトを例に、教科の目標に大きく関連した「技術の見方・考え方」が明確に、かつ視覚的に示されている。 ○ガイダンスでは自ら問題を発見し課題を設定するような記述があり主体性の必要性を説いている。 ○「技術分野のガイダンス」の「4未来を創る技術による問題解決」では、「問題解決のプロセス」を「1問題の発見、課題の設定」「2設計計画」「3製作、制作、育成」「4成果の評価、改善・修正」「5新たな問題の発見」の順に示されており、相互に行き来(フィードバック)するように示されている。
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 家庭分野	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「家庭分野のガイダンス」では、目指す姿が示されたり、見方・考え方が記載されたりして、中学校での学習を見通せる内容となっている。 ○「家庭分野の学習の進め方」として「よりよい生活をつくるー問題を解決する道筋ー」として、「課題を決めよう」「計画を立てよう」「実践しよう」「評価しよう」「改善しよう」「次の課題に挑戦しよう」といった問題解決のプロセスが説明されており、「生活の課題と実践の進め方」においても同じ進め方で示されている。 ○生徒の実践例などの掲載資料においても、学習指導要領のねらいを意識した内容となっている。
英語	東京書籍	NEW HORIZON	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入時には、単元を貫く問いが示されており、英語の見方・考え方を豊かにすると同時に、学びを深める手立てとされている。 ○QRコードが付されており、授業以外の場面でも英語の音声聞くことができ、個別の学習に役立てられる。また、Word Roomには語彙がジャンル別に豊富に示されており、個々の表現活動に役立てられる。 ○SDGsで示された目標を意識し、多様な題材が取り上げられている。
道徳	東京書籍	新訂 新しい道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年、巻頭の折込みページに「道徳の授業はこんな時間に」が設定され、巻末には自己評価用紙「自分の学びをふり返ろう」が3枚ずつ設けられている。 ○全学年に「はじめの問題」についての教材がユニットで取り入れられている。 ○「生命の尊さ」に関する教材が各学年4つ配置されている。 ○全学年の付録に「郷土のことを考える」のページが設けられ、先人やスポーツ選手のこと等が掲載されている。